

埼玉自動車大学校版

〒362-0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

公開授業・車両展示



今年度最後の公開授業を9月20日に実施した。

公開授業は授業見学+車に関わる魅力あるイベントを毎回開催している。

今回はコラボ企画として昭和の名車展示やコインズ・モーターズ(株)様の協力のもとランボルギーニ、フェラーリ、ボルシェといったスーパーカーの展示が行われ在校生、高校生、その保護者を合わせ700名ほどが見学した。

スーパーカー見学ではオープンカーの屋根の開閉やエンジン始動等のデモンストレーション、そして希望者には自ら乗車しエンジンをかけられるという特典付きで、在校生・高校生はスーパーカーの存在感に魅了されていた。

クラシックカー展示は、小雨が降る中屋外での実施にも関わらず、約40台クラシックカーが集合し、公開授業に華を添えた。運営にはクラシックカーサークルの学生が携わり、車両誘導や展示車両の説明等を行い、高校生にとっても良い印象が残せた。

授業見学+昭和の名車&スーパーカーを見学できたことで、進路決定の

との併修による学士の取得が可能。

大学の単位取得方法は通信教育、もしくは指定された会場で講義を受けるスクーリングという方法がある。今回は特別に本校を会場として講師を招いてのスクーリングとなった。

普段の授業とは異なる内容と雰囲気戸惑う学生も見られたが、グループ作り議論するグループワークが始まると活発に意見交換をしていた。

総合車体整備科 学士取得コース スクーリング



総合車体整備科1・2年生を対象に、9月11日と18日の2日間にわたって大学講義のスクーリングを実施した。

総合車体整備科では、車体整備士の国家資格と大学



時期を迎えた高校生にはクルマの魅力、学校や学生の

次世代自動車分解研究会



メーカーのエンジニアによる解説

一級自動車整備科3年生が新型ホンダ・フィットe・HEV分解作業を9月16日から2日間にわたり行った。埼玉県支援の下、最新の自動車を研究することで地元企業の活性化と技術向上を図る一大プロジェクト。その一環として次世代自動車支援センターから本校に作業依頼があり今年で7回目を迎える。

一昨年分解した日産リーフは各企業の研究後、誰にでも構造作動が分かりやすいハーフカットモデルに本校学生が製作し、多方面で高い評価を受けている。主要部品を車両から降ろす初日、今まで2年半本校で学んだ技術や知識を活か



学生たちは「この貴重な経験は将来必ず役に立つ」と満足げな表情で話していた。なお分解された部品は、埼玉県産業技術総合センター(川口市SKIPシティ内)に展示される。